



		QA/QCの実施状況の確認 5. 不確かさ及び誤りの評価確認 6. 関連する許認可及び関連法令等の順守状況及びその他のリスクに関する状況				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011 (~9/30)	2012
	t-CO <sub>2</sub>	4,851				—
検証結果の要約		<p>JACOCDMは、本プロジェクトの対象となったニッタ株式会社が管理運営する森林を対象に、モニタリング期間(2008年4月1日~2011年9月30日)における温室効果ガス吸収量増加量を検証した。</p> <p>検証の結果、ニッタ株式会社豊頃町間伐促進プロジェクトに関する「モニタリング報告書」は、モニタリング方法ガイドライン Ver.3.0 に準拠していることを確認した。</p> <p>また、同報告書に記載された温室効果ガス吸収量増加量4,851t-CO<sub>2</sub>は、プロジェクト申請書及びモニタリングプランに基づいて算定されており、その誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>となり、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドラインVer2.0に規定する重要性の判断基準である5%以内であることを確認した。</p> <p>以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

<sup>1</sup> 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。